



◎理事會

昭和十五年十月二十二日正午より丸ノ内日本俱樂部に開
催。水野會長外成田、山田、中川(吉)、佐上、辰馬、牧、藤
井の七理事、田中道路課長外五幹事出席。定刻に至り會長
より理事會を開く旨を告げられ、先づ會長互選の件を付議
中川(吉)理事より引續き水野會長に御願ひ致し度しとの動
議あり、全員之に賛意を表し決定。次で副會長三名互選の
件に移り、辰馬理事より選任方を會長に一任されては如何
と諮り、全員異議なく仍て會長は内務次官、山田英太郎、
中川吉造三氏を指名選任せられ決定。更らに水野會長より

此際山田常務理事の後任として佐上理事を指名せられた。
次で特別會員並評議員委囑に關する件、(本會役員にして特
殊關係の官職に在る者その官職を去りたる場合に於て前官
職者其の儘役員として留任し、現官職者は本會役員たらざ
る次第にして實際上不都合に付、將來は會長に於て其の交
送に應じ善處の手續を執る様に致し度し、又時局に應じ本
會亦振興擴充の要あるを以て役員委囑の範圍を擴張し、左
記の在官職者に特別會員及評議員を委囑すること。

内務次官、内務省地方局長、内務省警保局長、内務省計
畫局長、陸軍省整備局長、海軍省軍務局長、鐵道省監督
局長、鐵道省運輸局長、拓務省管理局長、朝鮮總督府内
務局長、臺灣總督府交通局總長、北海道、東京府、京都
府、大阪府、神奈川縣、兵庫縣、新潟縣、愛知縣、宮城
縣、福岡縣各知事、東京、京都、大阪、横濱、神戸、名
古屋、各市長)を附議異議なく可決、

次で昭和十五年度一般特別會計歳入歳出追加豫算の件に
付平井幹事より説明ありて承認、終に評議員會の議に付す

る事件として、本會と縁故深き故澁澤子爵令孫敬三氏、元土木局長安藤狂四郎氏を特別會員に推薦の件、内務大臣、橋本圭三郎氏、大橋新太郎氏及び内藤久寛氏を顧問にそれぞれ推薦の件、及本年度記念事業費を基本財産より支辨する件に關し付議し、全員異議なく承認、午後二時三十分散會す。

◎内務省土木試験所談話會

第二百九回技術談話會話題

昭 一五・十・二五・午後一・〇〇——四・三〇

於 内 務 省 土 木 試 驗 所 講 堂

- 一、二鉸拱橋の振動に就て (二〇分) 村上永一
- 二、ラーメン解法の撓角撓度公式を一般化したもの (2) (二〇分) 佐藤技師
- 三、突固め試験に基く土堰堤土質適性の判定並びに施工基準に就て (二〇分) 星登技師
- 四、溢流堰堤に關する水理實驗に就ての所見 (三〇分)

横田技師

五、零度養生と常溫養生とに於けるコンクリート強度の比較實驗報告 (二〇分) 福島技師

六、植民地の港灣に就て (一時間) 太田尾廣治氏

七、街路樹雜話 (四〇分) 中川吉造氏

◎近刊圖書雜誌 (交換寄贈)

○自警 (十月號)

○東大陸 (十一月號)

○汎交通 (十月號)

(安達堅造氏 獨逸の情勢)

○都市問題 (第三十一卷四號)

○港灣 (第十八卷十號)

○企畫 (第三卷六號)

○大阪商工會議所月報 (第四〇〇號、第四〇一號)

○法律 (十月號)

○建築 (八月號)

- 水利と土木（第十三號十號）
- 觀光聯盟情報（第四卷九號）
- 駿工（第十六卷八號）
- 技術評論（十月號）
- セメント界彙報（十月號）
- 道路（十月號）
- （淺沼稻次郎氏）國土計畫の緊急性
- 乗合自動車（九月號）
- 清和（九月號）
- 土木工業（第二卷九號）
- 電氣通信學會雜誌（第二百十號）
- 土木學會誌（第二十六卷十號）
- 三田學會雜誌（九月號）
- 土木試驗所報告（第五十六號）
- 土木試驗所試驗調查事項年報（昭和十四年度）

十月十二日作句

ハンノウ生

妻よ兒よとさけぶ車や秋曇り
 菜鶏頭に車の風や鶏の聲
 むつき干すコスモスの垣破れたり
 雲の影遠くに去るや稻映ゆる
 貯水池の水静かなり秋日和
 知らぬ神に拍手うつや秋の山
 節米の腹の疲れや秋あつし
 疲れ目や天覽山の薄紅葉
 肉を焼く香漂ふ秋の夕
 暮迫る瀨白るくくと秋の河
 疲馬鳴く垣根に委む木樵かな